

みらいへ、 みなみいせ



南伊勢町議会だより

2026
(令和8年)

8月1日

No. 74

鵜倉園地
ハートの入り江

6月定例会	P 2
一般質問	P 4
委員会活動報告	P10
つぶやき広場	P12
町の発展のために～ほか…	P14

重点事業と注目ポイント

6月15日、16日の日程で、令和8年度第2回南伊勢町議会定例会が開催されました。
補正予算案6件、条例案2件、その他の議案3件、報告1件が上程され、すべて原案通り可決、承認されました。
一般質問では議員5名が質問を行いました。

議案第44号 令和8年度南伊勢町一般会計補正予算（第1号）

さらに便利に



移住定住や二地域居住に関する就労情報や地域での暮らしについて、一体的に発信でき、移住希望者等が見やすい空き家バンクのホームページを整備し、ワンストップで支援できる体制を構築します。

空き家バンク等集落支援員
業務委託料
163万円

町の魅力を再発見！



南島西小 あじっ子集会

農林水産物の地域資源について、首都圏への営業活動支援、町内企業等への六次化支援、資源調査などを行い、地域産品の認知度向上及び販売力強化を図ります。

地域力創造アドバイザー活用
農林水産物販売戦略推進事業
377万円

推 定量は500トン



阿曽浦漁港

台風6号により、流木をはじめとする多量の海岸漂着物が押し寄せました。一般廃棄物として処理しなければならいため、町外の民間業者へ委託します。

805万円

海岸漂着物等処理委託料

河 川災害



のこす川（東宮）

台風6号による被害のあった各地域の道路・河川の復旧工事が計上されました。

1億500万円

災害復旧費

あなたの声を市政に!!

一般質問



議員の **Q**uestion 行政の **A**nswer

一般質問は、町民の声や議員自身の考えをもとに、町の行政・財政の全般にわたり、執行機関に対して疑問点をただし、将来に対する政策方針などを問うものです。

質問議員	質問事項	ページ
倉田 育	① 空き家“予防”対策と終活支援、孤独死対策について ② 持続可能な上下水道事業と基本料金について	5
森 源 久	① 伊勢志摩国立公園80周年としての位置付け、並びに、観光、その他産業に関連する事柄	6
掛橋 靖	① 物価高・燃油高騰下における地域の生活防衛と地域経済対策について	7
山本 克彦	① ふるさと納税を活用した地域活性化と地域貢献策について	8
岡田 和夫	① 2045年の人口4千人への対策について ② 団塊の世代が80代を迎える前に介護施設の新設が必要ではないか ③ 地区の防災対策のためには「地区防災計画」が必要だ	9

6月定例会における傍聴者の総数

5名（内メディア関係者数 2名）

一般質問の質問事項・内容は、議会広報特別委員会で会議録に基づいて編集、要約しています。詳細は、議会事務局にお問い合わせください。（TEL 0599-66-1781）

一般質問とは

定例会（3、6、9、12月）において、議員が町長や執行部などに対して行政全般にわたり、報告や説明を求めたり、考え方や疑問点を質問し、政策の見直しや提言を行います。質問は一問一答方式で、議員一人あたり45分以内の持ち時間を設定しています。皆さまの傍聴をお待ちしています。



住宅と福祉の両立は

〔町長〕 安心して暮らせる地域づくりを



倉田 育 議員



悩まずに役場窓口へ

Q

全国的に空き家が
増加し、当町は県
内でも空き家問題の最前線
となっている。さらに、高
齢化率や単独世帯の割合も
高く、身寄りのない家主
が、生前に相談・登録して
おくなどの行政対策は、

A

〔町長〕 全国的に
空き家問題が深刻
化する中、当町でも重要課
題と認識し、空き家バンク
制度の運用や管理不全な空
き家への対応を進めてい
く。
高齢化や単独世帯の増加
に伴う生活課題の深刻化を

防ぐため、地域包括支援セ
ンターや訪問員による相談
支援、ACP（※）やライフ
デザインノートの活用を推
進している。さらに、権利
ようごセンターによる後
見・身元保証サービス等の
支援や、民生委員による見
守り体制を整備し、関係機
関と連携して高齢者が安心
して暮らせる地域づくりを
進めていく。

※ACPとは、将来の病気や
介護に備え、前もって考え
話し合う「人生会議」で
す。

今後の水道事業は

〔町長〕 経営健全化に努める

Q

当町の水道事業を
取り巻く環境は厳
しさを増している。東西に
広大な土地、少子高齢化の
影響下でも現行の料金制度
で、安定した上下水道サ
ービスは提供できるのか。

A

〔町長〕 人口減少
や物価高騰によ
り、上下水道事業の経営は

厳しく、持続的運営のため
経営基盤強化が必要であ
る。業務効率化や経費削減
を進めつつ、国・県の財政
支援を活用し、広域連携も
検討する。料金単価の実態
を分析し慎重に判断する。
さらに住民負担に配慮しな
がら、安定したサービス提
供と経営健全化に努める。



日々の暮らしを守る

国立公園80周年としての 位置付けは

[町長] 次世代へ繋ぐ町づくり



もり 森 源 久 議員



お伊勢さんのお膝元で



伊勢志摩国立公園
は、昭和21年に戦

後初めて誕生した国立公園
のひとつで、今年80周年を
迎えた。

当町は貴重な海と山とい
う豊かな大自然を有し、環
境保全に努めながら観光や
産業の発展に関連付けて、
今後どのような施策を展開
するのか。



「町長」 当町は豊
かな自然と景観を
有する重要区域であり、自
然保全と観光・産業振興の
両面で、大きな役割を果た
してきた。

また、「お木曳」の開催
など、注目が高まる今を、
地域の価値を再認識し、次

世代へ継承する好機と捉え
ていく。

さらに、人口減少など環
境変化の中でも、魅力や可
能性を最大限に引き出し、
環境省や関係機関と連携
し、自然保全を基本に、魅
力発信と誘客促進に取り組
んでいく。



育て！一緒に未来へ

産業振興と生活支援、 経済対策は

[町長] 持続可能なまちづくりを



かけはし やすし
掛橋 靖 議員



物価高騰と燃油価格上昇は、全国的に生活と地域経済へ深刻な影響を及ぼし、当町においても、生活や基幹産業である水産業、また、建設・運送・観光・小規模事業者にも深刻な影響を及ぼしている。特に高齢化率が高い当町では、生活防衛の重要性が一層増している。

一方で、社会保障費や公

共施設維持費の増加により、地域経済循環と財政健全化を両立する施策が求められる。

さらに、国の重点支援地方交付金や地方創生交付金、県補助制度を戦略的に活用し、当町に適した生活支援と経済対策を構築する必要がある。町長の総合戦略を伺う。



持続可能な経済循環を



「町長」 エネルギー

物価高騰は、子育て世帯や年金生活者に大きな負担となり、基幹産業や町内事業者の経営にも深刻な影響を及ぼしている。

当町は総合計画に基づき、国の交付金を活用しながら生活支援と地域経済対策を総合的に展開している。



地域産業の振興

商品券の発行や保育料・給食費無償化で生活安定を図るとともに、水産・農林・商工業の担い手育成や経営支援を進め、ふるさと納税による販路拡大にも取り組む。

施策の選択と集中により財政健全化を図り、町民と行政が一体となって持続可能なまちづくりを進めていく。

今後の方向性は

[町長] 持続的な地域活性化へ



やま もと かつ ひこ
山本克彦 議員



鮮度ばつぐんだみ～



ふるさと納税制度は、当町においても地域の特産物を活かした返礼品により一定の成果を上げているものと認識している。当町は、豊かな海産資源、美しい自然環境、伝統文化、人々のつながりなど、全国に発信できる地域資源を有しており、ふるさと

と納税を通じて、南伊勢町のファンづくりを進める大きな可能性を持っている。地域外から人や資金を呼び込み、地域事業者支援や交流人口拡大につなげる施策としても期待される。そこで、当町における現状認識と課題、今後の方向性について伺う。

A

〔町長〕 当町のふるさと納税は自主

財源の確保に加え、地域産業の振興や町の魅力発信に大きな役割を果たしている。令和7年度は寄付件数・寄付額ともに過去最高となった。一方で、返礼品競争の激化や手数料増加など制度環境は厳しさを増している。

当町は寄付額の追求よ



豊かなまちへ

り、地域事業者の所得向上や販路拡大、交流人口の創出につながる取組を重視し、海産物など地域資源を活かした返礼品の充実や体験型返礼品、観光との連携を進めている。

今後も制度の趣旨を踏まえ、地域経済への波及効果を高め、持続的な地域活性化につながる事業として力を入れて取り組んでいく。

人口減少対策は急務！

〔町長〕総力を挙げて進める



あが た かず お
岡田和夫 議員



産業・子育て・福祉の輪を

Q

当町の最大の課題は、2045年に人口は、4千人となり、人口減への対応が急務であること。

人口減少への対策を専門に行う「定住対策課の設置」をこれまで求めてきたが、町長からは、すべての課での対応が良いとの答弁であった。

再度、町長の考えを伺う。

A

〔町長〕 当町の人口減少は、地域の持続を脅かす最大の課題であり、特定の課だけで解決できるものではない。そのため、まちづくり推進課が総合調整役となり、全課が横断的に連携して人口減少対策を推進している。重要なのは組織名ではなく、将来構想と計画に基づく確実な実行であり、今後も広域連携を図りつつ、総力を挙げて対策を進めていく。

地区防災計画は必須

〔町長〕地域の自主的取り組みを支援



自助・共助・公助の連携

A

〔町長〕 地区防災計画は、地域住民が主体となり、実情に応じた防災活動を定める重要な取り組みである。当町では職員が各地区に入り、行政と住民が一体となり、全38地区で「地区災害時行動計画」を作成し、避難体制や安否確認、備蓄など、実効性ある防災体制を構築している。南海トラフ地震や風水害など、多様な災害に備えるためには、自助・共助・公助の連携が不可欠であり、町としても地域の自主的取組を支援し、計画の実効性向上に努めていく。

Q

当町の「地区防災計画」は、どの地区で作られており、実施されているのか。計画に基づき、防災訓練が行われていないと実際の災害時に機能しない。地区の防災対策には、「地区防災計画」は必要と考えるが。

◆ 常任委員会・特別委員会 ◆

より良いまちづくりのために、調査・研究、
そして、現地視察などの活動を積極的に実践しています。

令和8年5月より新体制になりました

総務建設常任委員会

委員組織構成

委員長	掛橋 靖
副委員長	奥村 元彦
委員	松葉 和久
	田中喜一郎
	河村 健志
	森 源久

活動報告

今期から新たに、委員会の在り方や重要性を再認識し、効率化及びスピードを念頭に、山積する課題解決に臨みます。

◆5月19日から始動。年間スケジュールを策定し、早速、防災安全課と今年度の主要事業及び、建設予定の津波避難タワーに関しての説明を受けた。

その後、水産農林課からも今年度主要事業及び、「全国豊かな海づくり大会」開催に伴う、水産振興と地域活性化をどのようにつなげていくかの協議を実施した。

◆6月23日

観光商工課から、「ふるさと納税」に関する今年度事業の目標及び展望、制度の見直し等についての説明を受けた。

その後、建設課と台風6号被害のあった国道260号三ツ坂峠と東宮地内河川被害の現場視察、今後の修復工事計画について説明を受けた。

教育民生常任委員会

委員組織構成

委員長	上村 直美
副委員長	仲林 幹太
委員	岡田 和夫
	倉田 育
	山本 克彦
	田岡 悟

活動報告

人口減少、少子高齢化、物価高騰など、課題は山積していますが、町民の皆さまの声に耳を傾け、幸せに暮らせる町づくりに全力で取り組んでいきます。

◆5月28日
開催日時、町内の課題について話し合い、順次調査を進める。

◆6月23日

高齢者支援課から、総合相談支援業務、生活支援コーデイネーター、高齢者訪問隊など高齢者の現状と課題についての説明を受けた。

高齢者訪問隊は、75歳以上の介護認定を受けていない、高齢者のみの世帯を訪問している。

2600人が対象であるが、75歳になったばかりの方は、元気で、運動も積極的にされている方が多いと感じることです。

これから暑くなるので、訪問隊の方も、高齢者の方も、熱中症には気をつけてほしいです。

議会運営委員会

議会運営に関する事項の調査を行い、議案、請願等を審査しています。

委員組織構成

委員長	松葉 和久
副委員長	倉田 育
委員	岡田 和夫
	掛橋 靖
	森 源久
	上村 直美

会議規則や委員会に関すること、議員の発言・通告に関すること等、様々な事項を協議・調整し、議会を円滑に運営するため設置されています。町の発展に寄与するため、時代の変化に合わせ、議案や請願を審査していきます。

予算決算 特別委員会

予算審査では、使い道が適切であるか、決算審査では正しく、無駄なく使われたのか、全員で審査をします。

委員組織構成

委員長	掛橋 靖
副委員長	上村 直美
委員	議員全員 (議長を除く)

活動目標

前年度決算より、全員で予算・決算の審査をするこ
とになりました。

全員でチェックをするこ
とにより、様々な角度から
分析を強化することができ
ます。

予算と決算を連動させて
審査をすることで、どこに
無駄があったのか、どのよ
うな効果が出たのかを審査
し、その結果を次の予算編
成へ提言します。

議会改革 特別委員会

議会・議員の責務を果たす
ため、さまざまな議会改革
に取組みます。

委員組織構成

委員長	岡田 和夫
副委員長	山本 克彦
委員	議員全員

活動目標

「議会の機能強化」・「開
かれた議会の実現」・「政策
立案機能の強化」などの観
点から、議会改革について
調査研究を行うことを目的
とします。

議会広報特別委員会

定例会報告を中心に、議会活動を広報紙により、町民の皆さ
まに、お届けしています。

委員組織構成

委員長	山本 克彦
副委員長	掛橋 靖
委員	上村 直美
	仲林 幹太
	奥村 元彦

活動目標

目標と活動については、
議会の審議・活動状況を広
く住民の皆さまに知らせる
重要な役割を担っていま
す。

活動状況等についても、
一層の情報公開を進め、町
民の皆さまの議会に対する
理解と関心を高めるため、
議会だよりの編集・発行・
広報に関する事項について
の調査・研究を目的に5人
の委員で構成する。





つばやき広場



町民にやさしく

議会放送の画像が悪すぎる。映像機器が発達しているのに南伊勢町は時代遅れも甚だしい。

(たくさんの町民)



陸の孤島

台風6号の時に、クリーンセンターなんとうの近くで道路が陥没して何日通行止めになるのか不安だったけど、3日ぐらいで通れるようになって本当に良かったです。あと、もう1本道路がほしいです。

(たくさんの町民)



こなくていいぞ〜

台風、大雨の後片付けが、年と共に辛くなってきました。

これからもっと大きなのがあると思うとぞっとします。

(70代女性)



気分爽快

今年も、老人会の皆さん、海岸歩道をきれいにしていただきありがとうございます。

毎朝の散歩を気持ちよくすることが出来ます。

(60代女性)



有言実行

議員さんたちをお願いします。選挙で一生懸命演説していましたが、必ず実行してください。これまで議会放送や議会広報見て感じるの、何もしていない議員さんばかりですよ。

(70代女性)





議会をもっと身近に

議会を見に行きたいです。とても興味があります。頑張っている議員さんを応援したいです。でもバスの時間や手続きがよくわかりません。もっと親切に教えてください。

(80代女性)



議員さんの役割は？

町の祭りやイベントで議員さんを見かけるけど、終わったらそそくさと帰ってしまう人が多すぎますよ。私たちの話を聞いてほしいです。何か勘違いしていませんか。

(60代女性)



街灯のない贅沢

南伊勢は夜が暗すぎる。でも、その静かな闇が逆に最高にいいところだ。

(40代男性)



報酬に見合った働きを

地元の議員さんをお願いをしました。考え方や性格、政治スタイルがそれぞれ違っているのは理解できますが、能力の個人差が大き過ぎます。一緒になって勉強会や研修をやって、町のために議会全員で頑張してほしいです。

(50代女性)



もっとあれば

飲食店が少なすぎる。地元を支えるためにも何らかのサポートが必要だと思う。

(40代男性)



あなたもつぶやきませんか？

どんなことでも大丈夫です(^ ^)/ みんなでつぶやきましょう。

〒516-0194 南伊勢町五ヶ所浦3057 議会事務局 宛 FAX 0599-66-2164

※応募者多数の場合は、掲載できないことがあります。



町の発展のために

議長就任のあいさつ

町民の皆さまには、平素から町議会にたいしまして、深いご理解とご協力を賜り、心から感謝いたします。

私ども議会は、町民の皆さまに、これまで以上に信頼され、評価していただけるよう努力いたします。

南伊勢町議会議長 田中 喜一郎



議会広報誌
バックナンバー



委員 奥村元彦	委員 仲林幹太	副委員長 上村直美	副委員長 掛橋靖	委員長 山本克彦
------------	------------	--------------	-------------	-------------

議会広報特別委員会

議長
田中 喜一郎

議会を傍聴しませんか

次回定例議会(予定)

9月
議会

9月8日～9月14日

傍聴の受付は議会事務局まで。

議会だよりについて
のお問い合わせや、議
会に関するご意見、ご
要望がございましたら、議会事務局まで、
ご連絡下さい。

☎ 0599
(66) 1781
FAX 0599
(66) 2164

議会広報委員会は、新人議員を含めた新たな体制でスタートしました。
広報誌も新ネーミング・新デザイン「みらいへ、みなみいせ」として新たな一歩を踏み出します。
このネーミングには、町の未来へつなぐ議会の役割と、町民の皆さまとともに歩む思いを込めました。
デザインは、海と山の風景をシンブルに描き、南伊勢町の豊かな自然を表現しています。
町民の皆さまに議会をより身近に感じていただけるよう、「伝わる広報」を目指し、議会活動や議論を分かりやすくお伝えするとともに、積極的な情報発信を通じて、開かれた議会・透明性のある議会運営につなげていきたいと考えています。

(山本)

編集後記

